NEWS RELEASE

木を植えています
私たちはイオンです

２０２２年2月１７日
イ オ ン 株 式 会 社

― グループを挙げて 使い捨てプラスチック削減に向けた取り組みを加速 ―
カトラリーを紙･木に切り替え、店頭回収ペットボトルがトップバリュ商品に！

イオンは、２０２０年に策定した「イオン プラスチック利用方針」に基づき、持続可能なプラスチック利用に取り組んでいます。事業活動で使用する使い捨てプラスチックを２０３０年までに半減する目標を掲げ、イオンのブランド「トップバリュ」で使用するペットボトルは、２０３０年までに１００％再生または植物由来素材への転換を目指しています。

より確実に使い捨てプラスチックの使用量を削減するため、２０２２年度は、特に下記の取り組みに注力します。この２つの取り組みで年間 約５００ｔの使い捨てプラスチックが削減でき、約１，４８６ｔのCO_2 削減に貢献します。

記

１．無料配布カトラリー類を紙・木製に切り替え

２０２２年３月から順次、イオンの主要なグループ店舗で無料配布しているストロー･カトラリー類を、プラスチック素材から紙や木などの環境配慮型素材へ切り替え、年間で約１５０ｔのプラスチックを削減します。

＜切り替え計画の例 ＞

社名	対象店舗数	主な「無料配布カトラリー類」の例※		
		紙製ストロー	木・紙製スプーン	木・紙製フォーク
イオンリテール㈱	全店（約 360 店舗）	切り替え済み	2022 年 3 月から順次	
イオン北海道㈱	全店（165 店舗）	2022 年 4 月 1 日から順次 （一部の店舗で先行して切り替え）		
イオン九州㈱	全店（247 店舗）	2022 年 4 月 1 日から順次 （一部の店舗で先行して切り替え）		
イオン琉球㈱	全店（57 店舗）	2022 年 4 月 1 日から順次		

※「無料配布カトラリー類」の取り扱い種類は店舗により異なります。

２．イオンの店舗で回収したペットボトルを使用した「トップバリュ」商品を発売

イオン店舗の資源回収ボックスにお客さまがお持ちになった使用済みペットボトルを、容器の原材料に再生した「トップバリュ」の飲料を発売します。本商品は、２０２１年２月に丸紅グループと連携して開始した「ボトル to ボトル プロジェクト」を通じて調達したペットボトルを使用しており、今回の商品化により年間で約３５０ｔの化石由来のバージンプラスチックを削減します。

以 上

ご 参 考

２０２２年２月１７日
イオンリテール株式会社

２０２５年までに、使い捨てプラスチック使用量半減へ

店舗で配布するプラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更

イオンリテールは２０２２年３月から順次、「イオン」「イオンスタイル」等全店（約３６０店舗）でお客さまにお渡しするカトラリーを、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材に変更します。

当社はCO_2排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す「イオン プラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※1を２０３０年までに２０１８年比で半分に減らす」というグループ全体目標に先駆け、２０２５年までに完了する目標を掲げています。

こうした中２０２０年からは、お客さまが惣菜や弁当などを購入される際にお渡しするカトラリーは、お申し出をいただいたお客さまに必要な数量だけお渡しすることやストローについてはプラスチック製から紙製への変更により、使用量の削減を推進してまいりました。

このたび、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進し、２０２２年度上期中に、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材のカトラリーに切り替えます。

	＜変更前＞ プラスチック製	＜変更後＞ 木製・紙製
カトラリー		本体および外装にＦＳＣ認証素材を使用しています
割箸包装		本体に植林材、外装にＦＳＣ認証素材を使用しています

今後も当社は目標達成に向けて、食品トレーやレジ袋、ポリ袋や使い捨てカトラリー等のさらなるプラスチック削減に取り組んでまいります。

※１：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものとレジで無料配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材。

NEWS RELEASE

木を植えています
私たちはイオンです

ご参考

２０２２年２月１７日
イオン北海道株式会社

２０２２年４月より順次、店舗で配布する プラスチック製カトラリーを木製・紙製に切り替え

２０２５年までに使い捨てプラスチック使用量を２０１８年比で３５%減らします

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、CO_2排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す「イオン プラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※1を２０３０年までに２０１８年比で半分に減らす」というグループ全体の目標達成に寄与すべく、２０２５年までに２０１８年比で３５%減らす目標を掲げています。

当社は２０２０年から、お客さまがお惣菜などの商品を購入される際にお渡しするカトラリーについては、レジにて必要な方にお渡しするなど一部オペレーションを見直し使用量の削減を推進してまいりました。

こうした中、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進するため、２０２１年１０月より、一部店舗でストローを紙製に変更しました。このたび、当社の運営する「イオン」「マックスバリュ」「フードセンター」「ザ・ビッグ」「まいばすけっと」全１６５店舗でお客さまにお渡しするカトラリーについても、２０２２年４月から順次、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材に切り替えます。

当社は、今後も目標達成に向けて事業活動で使用する使い捨てプラスチック削減に積極的取り組んでまいります。

	＜切り替え前＞ プラスチック製	＜切り替え後＞※2 木製・紙製
カトラリー （プラスチック製）		

※１：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるもの、
　　レジで無償配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材
※２：各カトラリーの取り扱いは各店舗で異なります。

NEWS RELEASE

木を植えています
私たちはイオンです

ご 参 考

２０２２年２月１７日
イオン九州株式会社

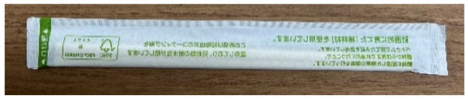
２０２５年までに、使い捨てプラスチック使用量半減へ
プラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更

イオン九州株式会社（以下 イオン九州）は、２０２２年４月から順次「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」全店舗で、お客さまにお渡しする使い捨てカトラリーを、プラスチック素材からや木製や紙製といった環境配慮型素材に変更します。

イオン九州は、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用を目指す「イオンプラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※1を２０３０年までに２０１８年比で半分に減らす」というグループ全体目標に向け、２０２５年までに２０１８年比で４８%減らす目標を掲げています。
こうした中、買い物袋持参運動によるレジ袋の削減や、お客さまが惣菜や弁当などを購入される際にお渡しするストローや、スプーン・割りばしなどのカトラリー類を、お申し出をいただいたお客さまに必要な数量だけお渡しすることにより使用量の削減を推進してまいりました。

このたび、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進し、九州の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」全２４７店舗で、お客さまにレジでお渡しする使い捨てカトラリーを、プラスチック素材から木製や紙製といった環境配慮型素材に順次変更いたします。
なお、紙製ストローについては全店舗で２月より順次変更いたします。また、２月下旬以降の新規店舗では下記の使い捨てカトラリー類すべてを開店時より導入予定です。

イオン九州は、今後も目標達成に向けて事業活動で使用する使い捨てプラスチック削減に積極的に取り組んでまいります。

	＜変更後＞ 木製・紙製	＜変更前＞ プラスチック製
カトラリー類		
箸包装		

※１：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものと、レジで無償配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材。

以上

NEWS RELEASE

木を植えています
私たちはイオンです

ご参考

２０２２年２月１７日
イオン琉球株式会社

２０３０年までに、使い捨てプラスチック使用量半減へ

店舗で配布するプラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更

２０２２年４月より順次切り替えていきます

イオン琉球株式会社（本社：南風原町、代表取締役社長：大野惠司　以下、当社）は２０２２年４月から順次、「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」「イオンドラッグ」全５７店舗でお客さまにお渡しするカトラリーを、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材に変更します。

当社は、CO_2排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す「イオン プラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※1を２０３０年までに２０１８年比で半分に減らす」というグループ全体の目標達成に寄与すべく、２０２５年までに２０１８年比で３５％減らす目標を掲げています。

こうした中２０２０年からは、お客さまが惣菜や弁当などを購入される際にお渡しするカトラリーは、レジにてお申し出をいただいたお客さまに必要な数量だけお渡しすることにより使用量の削減を推進してまいりました。

このたび、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進し、４月１日より順次、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材のカトラリーに切り替えます。

当社は、今後も目標達成に向けて事業活動で使用する使い捨てプラスチック削減に積極的取り組んでまいります。

	＜切り替え前＞ プラスチック製	＜切り替え後＞※2 木製・紙製
カトラリー （プラスチック製）		

※１：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものと、レジで無償配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材。
※２：各カトラリーの取り扱いは各店舗で異なります。

ご 参 考

■「イオン プラスチック利用方針」（２０２０年９月策定）

イオンは、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用に取り組みます。店舗・商品・サービスを通じて、全てのステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素型かつ資源循環型の新たなライフスタイルの定着を進めて参ります。

１．事業活動における資源の無駄使いや使い捨て型の利用を見直し、使い捨てプラスチックゼロを目指します。
２．必要なプラスチックは化石由来から環境・社会へ配慮した素材へ転換します。
３．店舗を拠点に使用済プラスチックの回収・再利用・再生する資源循環モデルを構築し、お客さまとともに持続可能な資源利用に取り組みます。

〈目標〉ＣＯ$_2$排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指し、
・２０３０年までに、使い捨てプラスチック使用量を２０１８年比で半減します。
・２０３０年までに、全てのＰＢ商品で環境・社会に配慮した素材を使用します。
・２０３０年までに、ＰＢ商品のＰＥＴボトルを１００％再生又は植物由来素材へ転換します。

■ イオンの店舗でのペットボトル回収実績

※1 連結子会社中21社分の合計（2022年2月現在でボトルtoボトル以外でリサイクル活用されている分も含む）
※2 525mlペットボトル重量＝26.3gを1本として換算
※3 回収量1kgあたりのCO2削減量を3.6kg-Co$_2$（マテリアルリサイクル）で換算

■「トップバリュ」環境配慮型商品の一例

容器に再生プラを使用	バイオマス素材の使用	ラベルレス飲料の展開
飲料用ペットボトルをリサイクルしたメカニカルペット素材を容器本体に９５％使用した商品	包装フィルムの一部にバイオマスを使用した商品	ラベルを省くことで使用するプラスチックの量を削減しています